

わらべ

令和8年7月28日

富岡保育園

七夕会の様子

おじいちゃん・おばあちゃん ようこそふれあい交流会へ！！

7月7日は、高齢者大学との七夕ふれあい交流会でした。ホールに笹飾りも飾って「おじいちゃん、おばあちゃんたちが来る！」と、子どもたちはとても楽しみにしていました。9時頃には続々と登園して下さり、おばあちゃん達の姿が見えると子どもたちは、嬉しそうに駆け寄って行って「おはよう」とご挨拶、「あ～可愛かね」とおばあちゃんたちも目を細めて喜んで下さいました。

七夕会が始まり、うさぎ組、年少・年長と歌を披露すると思わず客席から「ブラボー！！」の歓声が上がり、子どもたちは「どうしたの？」とばかりにびっくりでした（笑）

多喜先生と湖心先生は、「ドレミの歌」「オーシャンゼリゼ」の2曲をピアノやピアノカ・マリリンバそれに珍しいカズーという4つの楽器を巧みに使って演奏されました。子ども達ばかりでなくおじいちゃま、おばあちゃま方もびっくりされて「ブラボー」がまたまた飛び出しました。

高齢者大学の皆様方は、「夏は来ぬ」「学生時代」の2曲を多喜先生の伴奏で披露して下さいました。多目的室で前もって一度練習したんですが「懐かしいですね。昔のことが次々と思いだされます」とつぶやかれた方もおられました。アンコールが出て「学生時代」はもう一度歌って下さいました。皆さん方の優しい歌声にこちらも癒されました。

その後、おじいちゃんおばあちゃん方は、うさぎ組とホールを分かれて一緒にふれあい遊びを楽しみました。

うさぎ組の部屋では名前や好きな食べ物・年齢などの自己紹介をお互いにかわし、いつものようにマラソンをしてリラックスしてから、カエルを作って遊びました。段々と笑顔になり「かわいいね～」と喜んでおられました。

年少・年長さんは、ホールで肩たたきや運動遊び・輪投げなどを楽しみました。

給食も一緒に食べて、幸せな時間を過ごすことができました。おかげで、おばあちゃんたちに子どもたちの元気をプレゼントすることができ、子どもたちはおばあちゃんたちからはたくさんの優しさを頂きました。次回は10月のふれあい運動会でお会いできます。



育児情報

保育園の子どもたちの会話からも、SNS の利用が頻繁にあるのではないかと案じられます。外国では15歳未満の SNS 利用を制限しようという動きもあります。SNS で犯罪に手を染める若者の存在も聞かれます。下記の情報がありましたのでお知らせいたします。よそ事と思わず一度考えて見られませんか？

●スマホの普及が親子関係にもたらす影響

スマホが普及し、私たちは世界中の情報を簡単に得られるようになりました。SNS を通じてインターネット上の様々なつながりも瞬時に得られます。私たちの日常は、もはやスマホなしでは成り立たなくなりつつあり、それは子育て中の保護者でも変わりません。しかし、保護者が多く時間をスマホに費やすことは、子どもの成長にとってはどうなのでしょう？電子機器の日常的な使用が、家族間の会話や子どもとのコミュニケーションに及ぼす影響を調べたイリノイ州立大とミシガン大学による調査結果が、以下のように伝えられています。

親にとっては、スマートフォンなどが、面倒な子どもの世話からの避難所になっているかもしれない。また、スマートフォンから得た知識が子育ての役に立つこともある。

しかし、今回の調査では多くの場合で逆の効果がある事が分かった。電子機器は、大切な感情的なサポートと肯定的なフィードバックを子どもに与えるのを邪魔することが多かった。

その結果、子どものフラストレーションは募り、欲求不満、わがまま、すねる、かんしゃくを起こすといった異常行動が目立つようになった。

「外材的な問題を抱える子どもの親は、そのことでストレスを受けるようになり、益々電子機器に没頭し、結果として子どもの問題行動がさらに増えるという悪循環に陥る恐れがあります。」と、研究を共同して行ったイリノイ州立大学のブランドン・マクダエル氏は言う。

「スマートフォンなどに手を伸ばすのを控え、子どもと向かい合う時間を増やすことが大切です。子どもと質の高い濃密な時間をなるべく過ごすことで、良好な親子関係を気付けます」と、ミシガン大のラディスキ氏はアドバイスしている。

（一般社団法人「日本生活習慣病予防協会」2018年のニュースより引用）

●スマホを置いて、その手に絵本を。

幼い子どもにとっては、保護者の語りかけるスキンシップなどを通じて、愛されているという幸せ感や安心感を得る事がとても大切です。保護者から与えられる安心感がなければ、家庭を離れ園生活を元気に楽しむエネルギーも生まれません。そして、上記ミシガン大ラディスキ先生の言う「**子どもの質の高い濃密な時間**」を過ごすには、絵本を読んであげる事が最敵です。

スマホを持つ手に絵本を

最初は一日に1冊でよいのです。中には、「読んであげる絵本がない」と言う家庭もあるかもしれませんが。園文庫から貸し出すこともあるでしょうが、”絵本の時間”がどの家庭でも日常となるためには、何より月刊絵本の購読が効果的です。「こどものとも0, 1, 2」に始まり5年間月刊絵本を購読すれば、成長に合わせた60冊の絵本が家庭に揃います。

どの子にとってもやり直しのきかない、たった一度の大切な乳幼児期です。スマホに支配されない生活と、日々絵本を読んであげる事の大切さを忘れないでください。

苓北中学生・拓心高校生との交流

例年この時期は、苓北中学校や拓心高校の生徒さんの職場体験があります。今年も卒園生の生徒さんが来て一緒に遊んだり給食を食べました。

「保育園の給食は美味しいです！！」とどの生徒さんも言うてくれました。

また、事後の感想文には、「はじめは緊張したけど子どもたちと遊ぶうちに笑顔になってくれたことがうれしかった。」

「保育士の仕事は、子どもたちの命を預かるという責任の重さを感じた。」「次の目標に向けてやりがいを感じた」とありました。この体験が少しでもお役に立てたのであれば幸いです。

部活に勉強に頑張っている生徒さんたちのこれからの活躍を応援しています。



みんなの願いが叶いますように！！

先日お願いした七夕飾りが、富岡郵便局内に掲示してあります。富岡保育園児と、富岡小学校の生徒さんの作品です。

7月いっぱいまでに掲示してありますのでまだご覧になっていない方は是非ご覧ください。

皆さんの力作を郵便局の方が綺麗に飾っておられました。



おねがい

暑い夏を乗り切るために睡眠と朝ご飯を！！

・毎日暑い日が続いています。子どもたちは、先週からプール遊び・水遊びに熱中しています。昨年ホールにもエアコンが2台設置されて、快適な環境で運動遊びもできるようになりました。汗びっしょりかいて「もう1回、もう1回」と跳び箱や鉄棒に意欲的に挑戦しています。

そこでおねがいがあります。どうしても夜の睡眠が足りないと、朝から元気が出なかったり、遊びへの意欲が湧かなかったり、遊びを楽しむことができません。（5歳児に必要な夜間連続睡眠は11時間とされています。）

また、朝食を食べていないとこれまた馬力が出ません。子どもたちの元気な体を作ってあげられるのは、保護者の方の腕にかかっています。まだまだこれから暑い夏が続きます。暑い夏を乗り切るためにもどうかよろしくお願いします。

門の力ギは必ずかけて下さい

・門が空いていて子どもが道路に飛び出し、あわや大惨事が起きそうになりました。朝も夕方方も門を開けたら必ず力ギをかけてください。又鍵は必ず保護者の方がかけ、子どもには門の開閉はさせないでください。